

補助事業報告書

補助事業者名（代表）： かながわ商店会

1 事業実施結果

(詳細に記載し、成果物など資料を添付し、完売した場合は、上欄「総発行～」と同内容となります。)

商品券の額面金額	500円	割増し(プレミアム)率	30%
1セット当たりの販売額	(金額)5,000円(プレミアム分含めて6,500円) (枚数)13枚		
発行するセット数量	3,500セット	参加店舗数	85
総発行枚数・金額	45,500枚・22,750,000円(うちプレミアム分10,500枚・5,250,000円)		
販売枚数・金額	45,500枚・22,750,000円(うちプレミアム分10,500枚・5,250,000円)		
換金枚数・金額	45,400枚・22,700,000円	完売日を御記載ください。	
商品券の販売期間	令和7年7月1日	～	令和7年7月3日
商品券の販売場所	〇〇駅前〇〇広場の特設会場		
1人当たりの購入上限(原則5万円以下)	5セット(25,000円購入分、プレミアム分含めて32,500円)		
商品券の有効期間	令和7年7月1日	～	令和7年9月15日
事業周知に係る広報の内容	☒ チラシ	☒ ポスター	☐ 新聞折込 ☒ 地域紙
その他特記事項 かながわ商店会が60店舗、よこはま商店会が25店舗の計85店舗が参加した。 販売は、7月1日(火曜日)～7月3日(木曜日)の3日間、〇〇駅前〇〇広場の特設会場で行い、 初日1,500セット、2、3日目1,000セットを販売し、各日1時間余りで完売した。 [※商店街連合会など連合体で申請する場合、次のとおり、御記載ください。] 参加店舗数…A商店会〇店舗、B商店会〇店舗、C商店街〇店舗。			

2 実施した結果を踏まえた課題認識

- 商品券がすぐ売り切れてしまったため、再度実施する場合には、割増し率を下げることや発行セット数の増について、前向きに検討したい。
- 商品券が使用できる参加店舗が少なかったため、再度実施する場合には、商品券の魅力を会員に伝えて、参加店舗の増加を図りたい。
- 広く地域住民に知らしめるような広報が不十分であったため、再度実施する場合には、新聞折込や自治会との連携による回覧板の活用など、広報を強化したい。
- 商品券利用者が各店舗の顧客(常連)だったため、再度実施する場合には、新規顧客の開拓を課題としたい。

3 その他特記事項

- 商品券事業の実施後、商店会への新しい来街者が継続的に来街する地域の活性化につながった。

4 事業実施の効果

(事業計画書(様式1-1)に記載した「目標数値」の達成状況を記載してください。)

補助事業者①(代表): **かながわ商店会**

(1) 売上高(会員数の半数以上の算出必須)

団体会員数	80	測定店舗数	60	
	基準値	目標値	実績値	増減
年間売上高（万円）	75,000	78,750	79,125	5.5%

(2) 商店街等の歩行者通行量(事業実施前の測定と同一条件での計測必須)、地域住民の満足度等

歩行者通行量:

(事業実施前) 令和7年6月5日(木) 8時00分~17時00分 5,512人
(目標) 5,800人(約5.2%増)
(実績) 令和7年9月18日(木) 8時00分~17時00分 5,955人(約8.0%増)

正会員数の過半数以上の測定が必要となります。

地域住民の満足度等:

販売会では多数の購入希望者で長蛇の列ができるほど大好評で、販売日当日にも関わらず、販売時に「次回の販売はいつになるのか」との声も多数聞かれた。
あまり商店街で買い物をせず、スーパーを利用していた方からは、「身近で安く買い物できることが分かり良かった」との声もいただいた。

新規顧客のリピート率:

できるだけ具体的にリピート率を御記載ください。

会員からの聞き取りを平均すると、商品券事業で新たに顧客となった方のうち、約60%がリピートしてくれている。

※ 次の欄は、複数団体による連携で実施した場合に記載してください。

補助事業者②: **よこはま商店会**

(1) 売上高(会員数の半数以上の算出必須)

団体会員数	35	測定店舗数	30	
	基準値	目標値	実績値	増減
年間売上高（万円）	20,000	21,000	21,200	6.0%

(2) 商店街等の歩行者通行量(事業実施前の測定と同一条件での計測結果)、地域住民の満足度等

歩行者通行量:

(事業実施前) 令和7年6月5日(木) 8時00分~17時00分 3,512人
(目標) 3,723人(約6.0%増)
(実績) 令和7年9月18日(木) 8時00分~17時00分 3,758人(約7.0%増)

原則として、事業実施前の計測時と同一条件(同一曜日・時間帯)で計測してください。

地域住民の満足度等:

顧客から、「次回も是非商品券事業を行って欲しい。」「これまで行ったことがないお店に行く良い機会となった。」など、お客様から多数の好評の声をいただいた。

新規顧客のリピート率:

全ての会員には聞き取れなかったが、商品券事業で新たに顧客となった方のうち、7割程度の方がリピートしてくれている。

※ 3団体以上による連携で実施した場合、適宜、上記表を追加し、記載してください。

5 商品券事業を契機に継続して実施する「商店街の活性化」につなげる「工夫、取組」

■補助事業者①（代表）： かながわ商店会

(1) 申請時(補助事業計画書(様式1-1)「5(1)「工夫、取組の内容」」)に設定した「工夫、取組」

今後のイベント等でも転用できるような各店舗の「アピールポイント」や「おすすめ商品」を掲載する等の工夫を凝らした「告知MAP・チラシ」を作成するとともに、他のイベント等の様々な場面で情報発信や宣伝を行う。

今年度は、商品券事業で汎用性の高い告知マップを作成し、夏祭りイベントの告知チラシに転用した。

※ なお、上記「工夫、取組」に変更がある場合、その内容を次欄にご記載ください。

--

(2) 「工夫、取組」の実施スケジュール

令和7年度:(準備開始時期) 6月、(実施時期) 7月

令和8年度:(実施時期) 8月頃(※商品券事業で汎用性の高い告知MAPを作成し、〇〇イベントの告知チラシに転用する。)

(3) 令和7年度中に実施する県のヒアリング等の検査に係る同意事項

記載事項を確認の上、□にレ点を記載してください。

内容を御確認の上、忘れずにチェックしてください。

☒ 「工夫、取組」の進捗状況の把握のために実施する県のヒアリング等の検査を受けること。

☒ 上記、検査の結果、県がアドバイザーによる助言等が必要と判断した場合には、アドバイザーの派遣を受けること。

※ 次の欄は、複数団体による連携で実施した場合に記載してください。

■補助事業者②： よこはま商店会

(1) 申請時(補助事業計画書(様式1-1)「5(1)「工夫、取組の内容」」)に設定した「工夫、取組」

商品券販売時にSNS等を活用した広報を実施し、補助事業終了後も定期的に商店街のお得情報や取組等を発信する。

今年度は、商品券販売時に購入者へ商店会のSNSコンテンツへの登録をしてもらい、商店会のイベント等の情報を都度発信した。

※ なお、上記「工夫、取組」に変更がある場合、その内容を次欄にご記載ください。

--

(2) 「工夫、取組」の実施スケジュール

令和7年度:(準備開始時期) 6月、(実施時期) 8月

令和8年度:(実施時期) 4月頃(※商店会のSNSコンテンツに商店会のお得情報等を定期的に発信する。)

(3) 令和7年度中に実施する県のヒアリング等の検査に係る同意事項

記載事項を確認の上、□にレ点を記載してください。

内容を御確認の上、忘れずにチェックしてください。

☒ 「工夫、取組」の進捗状況の把握のために実施する県のヒアリング等の検査を受けること。

☒ 上記、検査の結果、県がアドバイザーによる助言等が必要と判断した場合には、アドバイザーの派遣を受けること。

※ 3団体以上による連携で実施した場合、適宜、上記表を追加し、記載してください。

6 経費

【重要！】

収入の

枠外セル「M24」に、交付申請後に県から送付した「交付決定通知書(様式2)」の「1 補助金額」(=交付決定額)を入力してください。

県補助金	県商店街等活性化促進事業費補助金	3,000,000	
その他補助金	〇〇市〇〇〇補助金	1,000,000	
自己負担	商店会費	1,965,000	
		自動入力	
合 計		5,965,000	(b)と同額

市町村が実施する補助金を併用する場合、補助金の正式名称とともに、補助(予定)額を御記載ください。

支出の部

こちらの金額は「(様式10-2)商品券(割増し(プレミアム)分)補助対象経費計算表」の⑥と同額になります。

費目	内容			
割増し(プレミアム)分経費	1,500円(3枚) ×3,500セット ×換金率 (99.78%)	5,238,450		5,238,450
券面の発券に係る印刷費	商品券の券面の印刷	500,000	50,000	550,000
広告宣伝費	チラシ、ポスター印刷、タウンユースへの掲載	150,000	15,000	165,000
		自動入力		自動入力
		自動入力	自動入力	自動入力
		5,888,450	65,000	(b) 5,953,450

セルの数式の補助率について

セルH24の

“=MIN((ROUNDDOWN(E24*1/2,-3)),(M24-H26))”

及びセルH26の

“=MIN((ROUNDDOWN(E26*1/2,-3)),100000)”

の数式内の「1/2」(補助率に該当)を貴団体に適用の補助率(1/2又は2/3)に修正してください。

【補助率】

- ・正会員数41以上の場合:1/2
- ・正会員数40以下の団体又はこれが含まれる複数の団体で連携実施する場合:2/3

※本記載例は、会員数80の商店街と会員数35の商店街の2者による連携実施の場合を想定して、作成しています(補助率2/3適用)。

対象経費	補助額
5,238,450	(数式の補助率変更を要確認) 自動
500,000	
5,738,450	2,900,000
150,000	(数式の補助率変更を要確認) 自動
150,000	100,000 ※上限10万円
5,888,450	3,000,000
自動入力	

(単位:円)

補助事業に要した経費(b)	補助対象経費(a)	負担区分	
自動入力	自動入力	補助金交付見込額(c) 千円未満切捨て(※)	自己負担額(b)-(c) (その他補助金を含む)
5,953,450	5,888,450	自動入力 3,000,000	自動入力 2,953,450

※補助上限額

【単独で実施する場合】

①R7.4.1時点の正会員数が40以下の団体:100万円

②R7.4.1時点の正会員数が40を超える団体:200万円

【複数団体による連携で実施する場合】

500万円

※上記正会員数の制限が適用されます。